

## 4. 成果指標の算出及び総合評価

### 4.1 マネジメント機能の成果指標

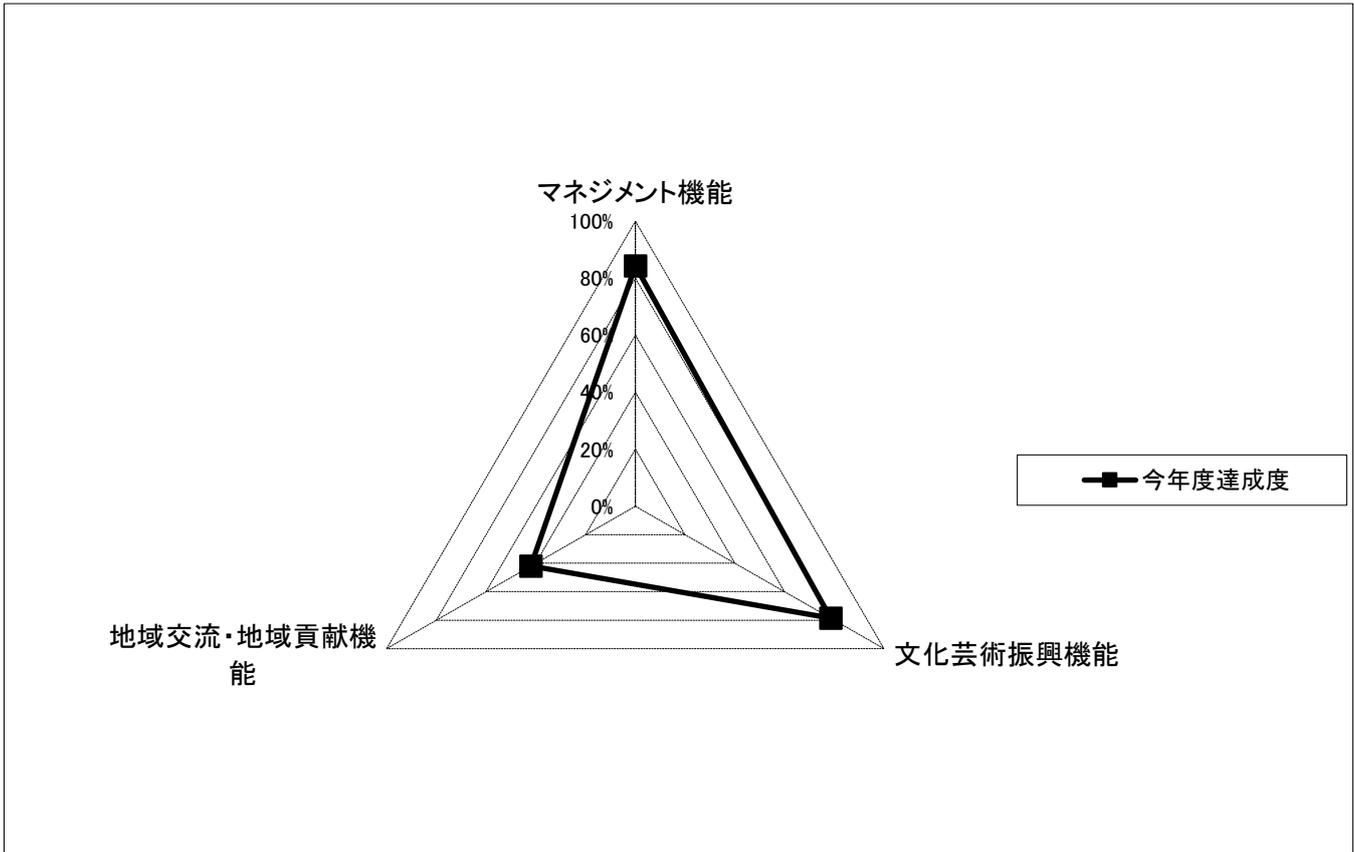
項 目	平成30年度(千円)	令和元年度(千円)	備考
① 入場料収入	22,950	26,123	
② 貸館料収入	18,703	19,898	
③ 補助金収入(事業助成金のみ)	989	676	国県等からの補助、助成金
④ その他の収入	9,115	12,642	
⑤ 事業支出	32,867	37,567	
⑥ 施設維持管理費(委託費等を含む)	12,965	12,345	
⑦ 人件費	41,683	42,011	
⑧ 施設・設備減価償却費	8,408	8,118	
⑨ その他費用(支出)	429	441	
⑩ 経営収支比率 = ((①+②+③+④) ÷ (⑤+⑥+⑦+⑧+⑨)) ×100(%)	53.72%	59.05%	
⑪ 当該項目の標準値(目標値)(%)	70.00	70.00	ベンチマーク等
⑫ 達成度 = (⑩ ÷ ⑪) × 100(%)	76.74%	84.36%	

### 4.2 文化芸術振興機能の成果指標

項 目	平成30年度(千円)	令和元年度(千円)	備考
① 人口規模(又はマーケットサイズ)	82,048	82,900	平成31年4月1日現在住基人口
② 自主事業観客数(文化芸術公演のみ)	10,142	8,971	
③ アウトリーチ活動聴衆者数	3,346	3,277	概数で可
④ 貸館による観客数(文化芸術公演のみ)	50,170	46,355	概数で可
⑤ その他鑑賞者数	0	0	
⑥ 文化芸術公演を鑑賞した住民の割合 = ((②+③+④+⑤) ÷ ①) × 100(%)	77.59%	70.69%	
⑦ 当該項目の標準値(目標値)(%)	90.00	90.00	ベンチマーク等
⑧ 達成度 = (⑥ ÷ ⑦) × 100(%)	86.21%	78.55%	

### 4.3 地域交流・地域貢献機能の成果指標

項 目	平成30年度(千円)	令和元年度(千円)	備考
① 人口規模(又はマーケットサイズ)	82,048	82,900	平成31年4月1日現在住基人口
② 文化芸術団体加入者数	3,265	3,294	会員数(団体)
③ ワークショップ等参加者数	400	300	延参加者数
④ 発表会、リハーサル等の利用者数	3,260	3,068	延利用者数
⑤ 劇場ボランティア数	90	82	延活動人数
⑥ その他利用者数(文化芸術活動のみ)	143	219	
⑦ 文化芸術活動に参加した住民の割合 = ((②+③+④+⑤+⑥) ÷ ①) × 100(%)	8.72%	8.40%	
⑧ 当該項目の標準値(目標値)(%)	20.00	20.00	ベンチマーク等
⑨ 達成度 = (⑦ ÷ ⑧) × 100(%)	43.62%	42.00%	



## 全体評価と課題

マネジメント機能については、構成する5つの機能のうち3つが評点4(やや高いレベル)以上で、残りの機能も評点3(標準点)以上となっており、評点4.40ポイントの施設維持管理機能、評点4.20ポイントの公共サービスのマネジメント機能、そして財務健全化機能は評点4.00ポイントと、経営収支や自主事業の収支は比較的高い水準を維持している。

文化芸術振興機能については、構成する5つの機能のうち4つが評点4(やや高いレベル)以上で、残りの1機能も評点3(標準点)以上を前年度から維持している。特に企画機能は、首都圏8館による共同制作の公演が企画され、大きな機能向上につながったほか、鑑賞機能は年度後半、新型コロナウイルス感染症の影響があったにも関わらず、観客動員率の前年度からの上昇という結果となっている。多ジャンルの「鑑賞型事業」、「自主制作型事業」、「支援型事業」が計画的に実施され、鑑賞者による公演満足度や公演者による事務所対応等の満足度についても、非常に高い水準を維持している。

地域交流・地域貢献機能については、前年度と同様に、文化芸術の底辺拡大機能は評点4.50ポイントと全評価項目中の最高評点を維持しており、オープンハウスをはじめ住民参加型公演の複数開催の継続が図られた。また、情報発信機能は、令和元年9月に開局した狛江FMラジオ「コマラジ」を通じた情報発信が加わり、3.40ポイントとなり前年度より向上している。

成果指標は、マネジメント機能については、入場料収入の増加と事業支出の減少に伴い前年度から収支が改善しており、経営収支比率が前年度の53.72%から59.05%に上昇し、6割に近づいている。

文化芸術振興機能の成果指標については、自主事業参加者数、アウトリーチ活動聴衆者数、貸館による観客数のいずれも前年度から減少した結果、文化芸術を鑑賞した住民の割合は、前年度の77.59%から今年度は70.69%に低下している。

地域交流・地域貢献機能の成果指標については、文化芸術活動に参加した住民の割合が前年度の8.72%から今年度は8.40%に低下しており、文化芸術団体加入者数等が増加した一方、ワークショップ、発表会、リハーサル等の利用者数は減少した。

## 今後の運営方針、改善・改革の方向性

### 短期的課題：

- ・自ホームページでのチケット予約の動向を見極めつつ、ネット予約の比率を高める検討とともに、販売チャネルの多様化を生かした集客力の向上と入場料収入の拡大
- ・倶楽部E(友の会)会員向けのニーズ調査の実施や、各種メディアや動画アプリ、SNSを通じたプロモーションの継続実施のほか、顧客データベースの活用等、施設のファンを増やす取組の展開
- ・「エコルマホール危機管理マニュアル(2011年4月策定)」の適宜更新とともに、警察やテナントビル等と連携し、不審者の侵入等を想定した訓練の実施
- ・新型コロナウイルス感染症への対応については、国や市等の方針を見極めつつ、当施設のガイドラインを適宜更新しながら、感染予防、感染拡大防止のための取組の徹底
- ・研修メニュー(コンプライアンス研修、ホスピタリティの高度化研修等)の着実な実施
- ・目標管理制度の具体的な運用
- ・「エコルマホール運営協議会」の活用とともに、今後も他館や他団体との連携や共催企画の展開等
- ・鑑賞者や関係者からの設備や対応等に関する意見、要望、苦情等を継続的に把握し、迅速に対応
- ・文化芸術団体支援に関わる事業や地域の団体を支援するようなアウトリーチ活動の継続実施
- ・住民参加型事業の継続実施
- ・チケット予約・販売機能の導入に合わせて、自ホームページとSNSをより一層有効活用するなど、情報発信機能の強化

### 中長期的課題：

- ・『総合型の文化芸術振興施設』に沿った事業展開
- ・狛江ならではの事業を広くPRし、文化芸術をツールとして地域の情報発信を行っていくとともに、市民等の社会参加の機会を拡充することへの貢献
- ・他市や他団体とのコラボレーションとともに、地元企業とのさらなるタイアップによる地域交流・地域貢献機能の強化
- ・市民団体や新人・若手アーティストに対する文化芸術活動支援事業の継続実施
- ・「絵手紙発祥の地-狛江」事業のアウトリーチ活動等を通じて、文化芸術に関わる地域の団体の活動を支援し、地域における文化芸術のボトムアップや地域活性化